

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお帝塚山店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入園・入学プログラムによる母子分離や小集団活動など、月齢にあった個々の困り感や課題に対してプログラムを作成し支援を行うことができます。	早期療育による母子分離を行い、保護者以外の人と関わられる環境を提供したり、入学に向けた小集団での活動に必要なソーシャルスキルトレーニング(SST)を行い社会性を育むなど様々な支援プログラムを実施しています。	
2	ライフスキルトレーニング(LST)を行い自身でできる活動(トイレトレーニング・衣類の着脱・食事の自立など)を増やし自己肯定感を高められるような支援が可能です。	身辺自立を目的として支援を行い、スモールステップで達成感を感じられるような支援プログラムを実施しています。	プログラムの段階を細分化し、個々にあったプログラムを提供できるよう計画しています。また、支援にむけた様々なツールを準備し負荷を調整できるような環境を提供できるよう準備しています。
3	自己教育力を育むモンテッソーリ教育を支援に取り入れることで【自己選択力】や【自己調整力】【自己決定力】などを高め、セルフコントロールや意思決定に対する支援を行うことが可能となります。	モンテッソーリ教育の項目にある【お仕事】を通して興味のある活動を行い、集中力の持続や巧緻性を育めるよう支援を行っています。	お仕事の教材をさらに充実させることで、興味の尽きない環境を提供できるように計画しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所間もないため地域の方々の認知が低い。	開所してからの期間が短い。	地域のイベントに参加したり、交流を目的とした様々な企画を実施し、地域の方々に事業所を知ってもらえるよう努めてまいります。
2			
3			